

地区の課題として真っ先に挙げられるのは高齢化と人口減少だ。4月1日現在の人口は1130人で、うち65歳以上は614人。高齢化率54・3%は市内で2番目に高い。空き家は多いものの、持ち主が賃貸や売却を拒み、亡くなつた後に家だけが残る状態が続いている。

創刊110周年記念



<二俣瀬②課題とキーマン>



(里山ビオトープのシンボルの「大水車」)

移住者呼び込み、自然を味方に

地区的コミュニティー

推進協議会(綿部謙造会

長)

と自治会連合会(鳥海

善春会長)

を中心に、持ち

主への売却などの声掛け

や地区外の人の移住に向

けた取り組みを推進して

いる。問題解消へ注目し

ているのが山中にある宇

部テクノパーク。製造業

や環境関連産業などの企業

が複数集まり、地区外

から通勤する人が多いた

め、二俣瀬に住んでもら

れるよう、住みやすい住

宅の用意を目指している。

交流人口の増加も含め

て期待を寄せているのが

車地の里山ビオトープ二

俣瀬。

県の水環境21

創業

事業として2000年9

月の公募で集まつた県民

ボランティアが整備し、

02年3月に完成。里山ビ

オトープ二俣瀬をつくる

会(原田満洲夫会長)が

維持管理を請け負い、「市

の憩いの場」「二俣瀬をア

ピールする場」「自然環境

教育の場」の三つをコン

セプトに活動している。

約5000平方㍍の休

耕田に水場や通路を設

け、ため池、湿地、草原、

田んぼの4エーカーに区

ルが飛び交い、9月には

稲がたわわに実る。草原

エリアに造られた大水車

を含めて、まさに日本の

原風景そのままだ。

地域づくりの特色とし

て、地区内の良好な関係や

結束力が挙げられる。同協

議会をはじめ、祭りなど

のイベントには大半の地

区団体が参画し、住民が総

出で盛り上げる。厚東地

区の住民と協力して二俣

瀬辻堂から厚東春日に抜

ける旧山陽往還の「びんだ

け道」の整備も行う。地区

の垣根を越えた取り組み

も続いている。

車地の里山ビオトープ二俣瀬。県の水環境21創業事業として2000年9月の公募で集まつた県民ボランティアが整備し、02年3月に完成。里山ビオトープ二俣瀬をつくる会(原田満洲夫会長)が維持管理を請け負い、「市の憩いの場」「二俣瀬をアピールする場」「自然環境教育の場」の三つをコンセプトに活動している。

約5000平方㍍の休耕田に水場や通路を設け、ため池、湿地、草原、田んぼの4エーカーに区分。6月にはゲンジボタも続いている。

車地の里山ビオトープ二俣瀬。県の水環境21創業事業として2000年9月の公募で集まつた県民ボランティアが整備し、02年3月に完成。里山ビオトープ二俣瀬をつくる会(原田満洲夫会長)が維持管理を請け負い、「市の憩いの場」「二俣瀬をアピールする場」「自然環境教育の場」の三つをコンセプトに活動している。

約5000平方㍍の休耕田に水場や通路を設け、ため池、湿地、草原、田んぼの4エーカーに区分。6月にはゲンジボタも続いている。